

2023年6月12日

千葉県留学生受入プログラムについての面談記録

【参加者】 (敬称略)

千葉県健康福祉指導課 福祉人材確保対策室 石井、中島

千葉県外国人介護人材支援センター 田尾

高齢者福祉事業支援協会 湯川、チャン (通訳)

創造会国際部 渡辺、山本、木村、桐畑 (記録)

【議題】

1. 7期生リンさん、フオンさんの状況確認

リンさんが、ベトナムでの日本語学校 JIS へ「いつからアルバイトができるのか」と質問したことについての状況の確認があった。

創造会としては、去年朝日国際学院より、早くアルバイトを始めたことによって、疲れて勉強ができていないと警告されたことがあったので慎重になっており、7月よりアルバイトを開始することを説明した。

→リンさん、フオンさんと千葉県との個人面談も特に問題なく終了した。預金を使ってしまったので、もしかすると創造会の貸付制度を利用するかもしれないとのこと。

→木村さんが両者に確認したところ、リンさんは10万円を持参して来日しており、たぶん大丈夫とのこと。フオンさんは、残金1万円だが、お姉さんが横浜にいたので借りる、とのこと。

2. 創造会の寮について

創造会より千葉県へ、現在の寮から個人契約のアパートへ移ることは可能か、また補助金は交付されるのか確認した。個人契約になっても、創造会が寮と認めればよく、補助金も交付されるとのこと。また時期はいつからでもよい。

ただ来日一年目は、日本に慣れるように、現在の寮に入るのはよいアイデアであると賛同した。

3. 6期生プログラムから離脱したトゥフオンさんについて

トゥフオンさんが、朝日国際の手引きによって、帰国後すぐ再来日していることを報告した。

この件は、創造会や千葉県にも全く相談なく行われていたことで、千葉県や湯川さんも、この留学生プログラムの信用に関わることで懸念した。

4. その他話し合われたこと

創造会：来日する学生の日本語能力を向上するようにお願いしたい。できればN4レベルになってからの来日を希望する。

湯川 : コロナ禍という非常事態であったので、なかなか日本語能力は向上しなかったが、4期生からは量より質で選考した。N5レベルでの来日になると思うが、これからに期待してほしい。

次回より、施設の方がベトナムへ行って直接会って面接をできるようにするので、ぜひその機会も利用してほしい。

(8月1日～15日湯川氏他渡越の予定、今のところ応募者面接は3日または14日を予定しているとのこと。場所はハノイJIS校内)

創造会 : ベトナムでの募集の際に、介護の仕事内容についてしっかり説明をしてほしい。

日本に来てから、こんなはずではなかったというのは避けたい。実際、1－3期生は、介護、特におむつ交換などの直接介護の内容について、知らなかったという学生が多く初期には、施設側と留学生との信頼関係にも悪影響を与えていた。

湯川 : いろいろな工夫をして、応募者には説明をしようと企画している。動画をとってみせたり、経験者から直接話をきいたり、といった機会を作りたい。又、現地日本語学校側にも日本の介護をよく理解してもらう必要があると感じたので実践したい。

創造会 : 経験者がベトナム語で説明するのが一番心に届くので、千葉県介護の未来案内人のユエンさんなどは、経験者でありロールモデルにも成りうるので、ぜひ検討してほしい。

創造会 : 介護という仕事は、将来性のある仕事であると説明してほしい。

AIでは介護はできないので、生き残る仕事である。この留学生プログラムは、養成校で2年間の専門教育を受ける事ができ、これからのベトナムでの高齢化社会でも専門職としてリーダーになり得る夢のあるプログラムである。

湯川 : この留学生プログラムの本質的なところだと思う。ベトナムの学生に、理解してもらえるようにしたい。

以上。